

右 刀 九州肥後同田貫藤原正國へ当館蔵▽■通期展示■

左 刀 九州肥後同田貫上野介へ当館蔵▽■後期展示■



玉名市立歴史博物館
TAMANA CITY MUSEUM OF HISTORY KOKOROPA



開館30周年特別展

よみがえる

同田貫

—豪刀の誕生とその再興—



刀剣乱舞ONLINE
コラボ決定！

刀剣勇士 同田貫正國

2024

2025

11/24 - 2/2

<前期>11/24 - 12/22

<後期>12/24 - 2/2

会場 玉名市立歴史博物館こころピア 企画展示室

開館時間 9:00 - 17:00 (最終入館16:30)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合翌日)、12月28日 - 1月4日

観覧料 一般300 (210) 円、大学生200 (140) 円、高校生以下無料 ※カッコ内団体料金

主催 玉名市教育委員会

協力 熊本博物館 島田美術館 島原観光ビューロー 宗教法人繁根木八幡宮 日蓮宗六条門流本妙寺
株式会社ニトロプラス

©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS



玉名市立歴史博物館

TAMANA CITY MUSEUM OF HISTORY KOKOROPA

〒865-0016 熊本県玉名市岩崎117
TEL 0968-74-3989 FAX 0968-74-3986
E-mail kokoropia@city.tamana.lg.jp



遭^あされた膨大な史料群から

豪刀「同田貫」の歴史に迫る

戦国時代末期、刀工集団「延壽」より分派したとされる「同田貫」。その初代正國は、肥後国を治めた大名・加藤清正のもとで作刀に励み、彼が鍛えた重厚かつ強靱な刀剣は、後世「兜割正國」の勇名を天下に轟かせました。しかし、戦国乱世が終焉を迎え泰平の世となると、武用刀同田貫もまたその時流に吞まれ、衰退の一途を辿ります。

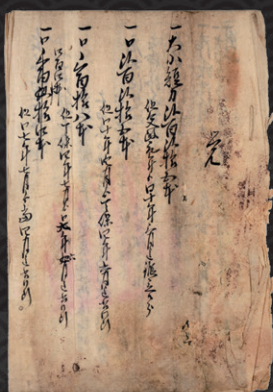
これを再興したのが、正國から数え九代目にあたる政勝と、その子宗廣をはじめとする一門の刀工たちでした。江戸時代後期から明治初期にかけ、玉名郡亀甲村を拠点として彼らが製作した刀剣は、実に一万振以上の膨大な数にのぼり、初代正國に比肩するほどの隆盛を見せました。

本展では、初代正國から十一代宗春までの作刀群を紹介すると共に、遺された膨大な文献史料から、一度衰退した同田貫がいかにして再興されたのか、そして、それに賭けた刀工たちの思いはどのようなものであったのかに焦点をあて、その栄枯盛衰の歴史に迫ります。



火縄銃 同田貫内田四郎八正頼 ■通期展示■

<当館蔵>



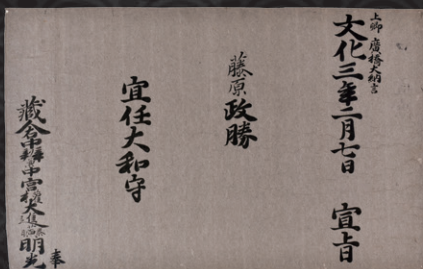
刀剣鍛立数覚 ■通期展示■

<個人蔵・当館寄託>



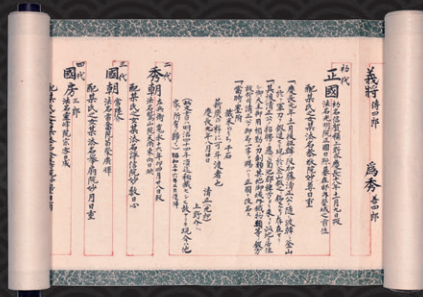
伝・細川公下賜 大盃 ■通期展示■

<個人蔵・当館寄託>



藤原政勝（同田貫政勝）宛宣旨 ■通期展示■

<個人蔵・当館寄託>



同田貫系譜 ■通期展示■

<個人蔵・当館寄託>

太刀 同田貫延壽太郎宗廣

後期展示

▲繁松大輔宮蔵・熊本県指定重要有形文化財▼

刀 九州肥後同田貫上野介 ■通期展示■ ▲当館蔵▼

関連イベント

■ 講演会

日時 12月15日(日) 13:30-15:30 (13:00開場)
会場 玉名市民会館 第二会議室
定員 80名 申込先着順(11月19日から電話受付開始)
講師 正海 郁雄氏(刀剣研磨師)
田熊 秀幸(当館技術主任)
赤堀 千恵美(当館主任学芸員)

■ トークイベント

日時 12月22日(日) 10:00-11:00
会場 歴史博物館こころピア レクチャーホール
定員 40名 申込先着順(11月19日から電話受付開始)
講師 正海 裕人氏(刀剣研磨師)
田熊 秀幸(当館技術主任)

■ ギャラリートーク

日時 11月24日(日)、令和7年1月12日(日)
各日とも 10:00-11:00、13:00-14:00の2回
会場 歴史博物館こころピア 企画展示室
定員 各回20名 申込不要

四館連携事業

■ 肥後島原同田貫道中一海を貫く軌跡一

期間 10月2日(水)ー令和7年2月2日(日)
対象館 島田美術館 熊本博物館
島原城 玉名市立歴史博物館こころピア

※事業内容の詳細は右QRコードからご確認ください。



大身槍 肥後同田貫正國 ■通期展示■ ▲当館蔵▼